



あなたの食生活は大丈夫？

食生活改善普及月間の活動として「うらそえ食生活展」が市民ロビーで開催されました。展示会では、普段食べている弁当、重箱料理などに含まれる油脂の量や、ジュースやケーキに含まれる糖分の量がパネルなどで紹介され、来場者はその量の意外な多さに驚いている様子でした。また、会場では市食生活改善推進委員（ヘルスメイト）によるメタボリック（BMI）チェックや、その結果を基にした食生活の改善アドバイスが行われ、健康に関心のある多くの方がBMI測定や栄養相談を受けていました。

11/11～17
(水) (火)

税を考える週間
書道、標語、作文 優秀作品表彰式



小学生の書道



中学生の標語



中高生の作文



10/9～11/15
(金) (日)

片岡鶴太郎氏が癒く世界

俳優、作家としても活躍する片岡鶴太郎氏の作品展「片岡鶴太郎展'09」が浦添市美術館で開催されました。展示会では絵画を中心に、染め、書道、近年取り組んでいる焼き物など幅広い作品が展示され、片岡氏の多彩な才能に多くの来場者が魅了されました。

24、25日に開催されたサイン会では、悪天候にもかかわらず、両日共に1,000人近くの方が来館し、片岡氏は展示されている作品への思いを語ったり、サインした後に握手をしたりするなど、来館者にとって大満足の様子でした。



11/3
(火)

現代に残る文化財を巡り、歴史を学ぶ

尚寧王^{めい}の命によって改修された街道をたどりながら、周辺の文化財を訪ねる「歴史ロマン街道～尚寧王の道をたどる～」が行われ、176名が参加しました。

浦添グスクからスタートして、安波茶橋、経塚の碑、安谷川獄などを訪れ、うらそえ歴史ガイドの説明を受けながら、首里城までの約4kmの街道を歩きました。参加者からは「文化の日に歴史に触れることができて大変良い経験になった」「毎年このイベントを開催してほしい」などの感想があり、史跡巡りを楽しんだ様子でした。



11/7
(土)

うらそえからはじまるモノガタリ

市内に在住、通学、通勤するYA世代（中学生から大学生、概ね13～22歳）を対象とした「うらそえYA文芸賞」の表彰式が市てだこホール小ホールで行われました。応募作品21点の中から創作文芸部門に比嘉みなみさん（仲西中学校1年）江洲茉李衣さん（浦添工業高校2年）金城美音さん（浦添高校2年）が選ばれ、体験感想部門に宮田さくらさん、安里隆佑さん、金子侑暉さん（ともに昭和薬科大学付属中学校3年）が選ばれました。

次に、YA世代へのメッセージとして、儀間市長が「青春の思い出の一冊」について講話し、「若いうちに多くの体験をし、多くの本を読んでいただきたい。10代に出会った読書は今後の人生において大切なものになる」と、若い世代への読書の大切さを語りました。また、腹話術のいっごく堂氏による読書講演会も行われ、「腹話術の知識を得たのは、図書館にあった本からである」と話しながら、人形を使った腹話術の巧みな技術に、会場は大いに盛り上がりしました。



11/2～4
(月) (水)

中国泉州市食品企業団が来訪

友好都市の中国福建省泉州市から林副市長と共に食品企業団12名が来訪しました。今回の企業団は、食品業界協会会長のほか、ビール、ミネラルウォーター、製菓などを扱う企業の重役で構成されています。一行は市長、市商工会議所を表敬訪問し、オリオンビール名護工場(株)お菓子のパルシェ、(株)比嘉酒造など県内企業を視察しました。

3日に開催された歓迎レセプションでは、市商工会議所、市観光協会、市国際交流協会が参加し、経済交流・文化交流が行われ、本市との友好都市の絆を深めました。



10/22
(木)

行政相談委員の山川氏が総務大臣表彰！

平成11年から本市の行政相談委員を担当している山川重子氏が、長年の活動が評価されて平成21年度行政相談委員総務大臣表彰を受けました。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱し、国民が毎日の暮らしの中で感じている国の行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続に関する問い合わせなどの相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などの仕事を無報酬で行っています。

山川氏は「表彰をいただき光栄です。これからも今まで以上に市民と行政のパイプ役として、できる限り力を尽くしていきたい」と、豊富を述べました。